

平成27年上尾市教育委員会6月定例会 会議録

- 1 日 時 平成27年6月25日(木曜日)
開会 午後2時00分
閉会 午後3時02分
- 2 場 所 上尾市役所 教育委員室
- 3 出席委員 委員長 細野宏道
委員長職務代理者 本田直子
委員 甲原裕子
委員 吉田るみ子
教育長 岡野栄二
- 4 出席職員 教育総務部長 尾形昭夫
学校教育部長 西倉剛
教育総務部 図書館長 菅間茂久
教育総務部次長 保坂了
学校教育部次長 長島慎一
学校教育部次長 兼 学務課長 石塚昌夫
教育総務部副参事 鈴木利男
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 上野明
教育総務部 教育総務課長 西嶋秋人
教育総務部 生涯学習課長 関孝夫
教育総務部 スポーツ振興課長 平賀健治
学校教育部 学校保健課長 坂井良昭
学校教育部 中学校給食共同調理場所長 吉田満
書記 教育総務課主幹 関根郁夫
教育総務課主任 烏丸美鈴
教育総務課主任 鈴木加代子
- 5 傍聴人 9人

6 日程及び審議結果

日程第1 開会の宣告

日程第2 5月定例会会議録の承認

日程第3 会議録署名委員の指名

日程第4 議案の審議

議案第27号 上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について

日程第5 教育長報告

報告1 平成26年度行政文書の公開に係る実施状況について

報告2 第28回2015上尾シティマラソンの開催について

報告3 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の委嘱又は任命について

報告4 第22回（平成27年度）上尾市中学生海外派遣研修の研修生及び引率者について

報告5 平成27年度上尾市立小・中学校学力調査結果について

報告6 いじめに関する状況調査結果について

報告7 ネットパトロールに関する状況調査結果について

報告8 上尾市小中学校一斉避難訓練の結果報告について

日程第6 協議

（仮称）上尾市中央図書館の建設について

日程第7 今後の日程報告

日程第8 閉会の宣告

7 会議録

日程第1 開会の宣告

(細野宏道 委員長) 皆様こんにちは。ただ今から、平成27年上尾市教育委員会6月定例会を開会いたします。本日は、傍聴の申出はありますか。

(西嶋秋人 教育総務課長) 9人の方から傍聴の申出があります。委員長の許可をお願いします。

(細野宏道 委員長) 傍聴を許可します。ご案内をお願いします。

～ 傍聴人入場 ～

日程第2 前回会議録の承認

(細野宏道 委員長) それでは、日程にしたがいまして、会議を進めます。「日程第2 前回会議録の承認について」です。5月定例会会議録につきましては、すでにお配りをして、確認していただいておりますが、何か修正等があればお伺いします。いかがでしょうか。

～委員全員から「なし」の声～

(細野宏道 委員長) よろしいでしょうか。それでは、吉田委員にご署名をいただき、会議録といたします。

日程第3 本定例会の会議録署名委員の指名

(細野宏道 委員長) 続きまして、「日程第3 本定例会の会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は、本田委員長職務代理者をお願いいたします。

(本田直子 委員長職務代理者) はい。

日程第4 議案の審議

(細野宏道 委員長) 続きまして、「日程第4 議案の審議」です。「議案第27号 上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について」説明をお願いします。

○議案第27号 上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について

(岡野栄二 教育長) 議案第27号につきましては、関生涯学習課長が説明申し上げます。

～関生涯学習課長挙手～

(細野宏道 委員長) 関生涯学習課長をお願いします。

(関孝夫 生涯学習課長) 議案書の1ページをお開きください。「議案第27号 上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について」でございます。提案理由といたしましては、人権教育集会所運営委員の任期が、平成27年3月31日で満了しましたことに伴い、上尾市立人権教育集会所運営委員会規則第3条第2項の規定に基づき、議案の一覧表にありますみなさんを委嘱又は任命したいのでこの案を提出するものです。この委員会は、同和教育をはじめとするさまざまな人権教育の充実を図るために、畔吉と原市に設置しております、人権教育集会所の運営に関する重要事項を審議するために設けられたものでございます。委員の任期は2年でありまして、今回、委嘱又は任命したい委員の任期は平成29年3月31日まででございます。なお、1号委員は地区の代表、2号委員は市立小・中学校長、3号委員は識見を有する者のうちからお願いしております。なお、会議については、昨年度は畔吉・原市とも2回の会議を開催しておりますが、本年度も同様の予定でございます。以上でございます。

(細野宏道 委員長) 議案第27号につきまして、説明いただきましたが、質疑、意見はありますか。

～委員全員から「なし」の声～

(細野宏道 委員長) 無いようですので、これより採決いたします。「議案第27号 上尾市立人権教育集会所運営委員会委員の委嘱又は任命について」原案のとおり可決することに異議はありませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(細野宏道 委員長) 異議がないものと認め、原案のとおり、可決いたしました。

日程第5 教育長報告

(細野宏道 委員長) 続きまして、「日程第5 教育長報告」です。岡野教育長、よろしくお願いいたします。

(岡野栄二 教育長) 本日は、8件の報告があります。よろしくお願いいたします。

～尾形教育総務部長挙手～

(細野宏道 委員長) 尾形教育総務部長お願いします。

(尾形昭夫 教育総務部長) 教育長報告の資料をご用意願います。「報告1 平成26年度行政文書の公開に係る実施状況について」を西嶋教育総務課長、「報告2 第28回2015上尾シティマラソンの開催について」を平賀スポーツ振興課長が報告いたします。

～西嶋教育総務課長挙手～

(細野宏道 委員長) 西嶋教育総務課長お願いします。

○報告1 平成26年度行政文書の公開に係る実施状況について

(西嶋秋人 教育総務課長) 恐れ入ります。1ページをお開きください。「報告1 平成26年度行政文書の公開に係る実施状況について」ですが、2ページから8ページのおりとなりましたので、報告するものです。平成26年度の公開の請求・申出の受付件数は、上尾市全体で118件、うち教育委員会の受付件数は24件でした。公開の決定の区分につきましては、全部公開1件、部分公開20件、非公開2件、取り下げが1件となっております。このうち部分公開となった理由につきましては、個人情報・法人情報部分等となっております。報告1につきましては以上です。

～平賀スポーツ振興課長挙手～

(細野宏道 委員長) 平賀スポーツ振興課長お願いします。

○報告2 第28回2015上尾シティマラソンの開催について

(平賀健治 スポーツ振興課長) 教育長報告9ページをお開き下さい。「報告2 第28回2015上尾シティマラソンの開催について」ご報告申し上げます。本年の上尾シティマラソンを次のとおり開催します。初めに、開催の期日ですが平成27年11月15日(日)雨天決行です。開会式を8時45分か

ら行います。主催でございますが、上尾市、上尾市教育委員会、上尾市体育協会、埼玉陸上競技協会の4者になります。会場につきましては、例年通り、埼玉県上尾運動公園陸上競技場をスタート・フィニッシュとする折り返しのコースとなります。ハーフのコースにつきましては、日本陸上競技連盟の公認の更新がとれましたので、公認コースとなります。参加資格としましては、健康な方で制限時間2時間20分、これはハーフの部のみになりますが、制限時間内で完走できる方、また、小中学生の参加につきましては、保護者が認めた方となります。種目につきましては、ハーフ、5キロ、3キロです。申込期間でございますが、平成27年8月17日（月）から9月11日（金）までとなります。どの種目も定員になり次第締め切りとなります。ちなみに定員は、ハーフ5,500人、5キロ1,500人、3キロ1,200人です。ハーフにつきましては、例年、締切の1週間ほど前には定員になるほど人気がある種目です。参加料でございますが、ハーフ4,000円、5キロの高校生以上3,800円、中学生1,000円、小学生500円です。消費税の増税や人件費等の経費があがったことにより、ハーフと5キロの高校生以上の参加料について、少し値上げをしまして、ハーフでは3,500円を4,000円に、5キロの高校生以上では3,500円を3,800円とさせていただきました。また、本年の上尾シティマラソン開催日は、毎年、戸田の彩湖を回るマラソンと同時の開催となっていました。本年は、さいたま市で行われます。第1回さいたま国際マラソンも同日の開催となります。よって、迂回路や交通規制の周知など、安全に対して十分な配慮をしながら開催したいと考えております。以上となります。

～西倉学校教育部長挙手～

（細野宏道 委員長）西倉学校教育部長お願いします。

（西倉剛 学校教育部長）教育長報告の11ページからになります。「報告3 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の委嘱又は任命について」を石塚学務課長、「報告4 第22回（平成27年度）上尾市中学生海外派遣研修の研修生及び引率者について」から「報告7 ネットパトロールに関する状況調査結果について」を上野指導課長、「報告8 上尾市小中学校一斉避難訓練の結果報告について」を坂井学校保健課長が報告いたします。

～石塚学務課長挙手～

○報告3 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の委嘱又は任命について

（石塚昌夫 学務課長）それでは、教育長報告の11、12ページをご覧ください。このたび、上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員の2年間の任期が、平成27年6月30日をもって満了となりますことから、設置要綱第3条第2項の規定によりまして、12ページの委員名簿にお示しいたしましたとおり、16名の方々を、委嘱又は任命いたしますので、報告するものでございます。以上でございます。

～上野指導課長挙手～

（細野宏道 委員長）上野指導課長お願いします。

○報告4 第22回（平成27年度）上尾市中学生海外派遣研修の研修生及び引率者について

(上野明 指導課長) 教育長報告の13ページをお開きください。「報告4 第22回 上尾市中学生海外派遣研修の研修生及び引率者について」報告いたします。去る5月23日、上尾公民館におきまして、63名の応募者で抽選会を実施し、22名の派遣生を決定いたしました。14ページをご覧ください。抽選につきましては、募集要項に、「募集人数22名、原則として、各中学校男女1名ずつの2名とする」と規定されてございます。本年度は、大谷中学校が男子1名の応募だったため、1次抽選に漏れた全員で2次抽選を行い、西中学校の男子1名が決定し、西中学校が男子2名、女子1名の3名となっております。また、南中学校は、女子のみの応募だったため、2名とも女子となっております。その他の学校では、男女1名ずつとなっております。「派遣生 男子11名 女子11名 計22名」が決定いたしました。引率者でございますが、14ページのとおり、団長は、学校教育部指導課 上野明課長、副団長は、大石南中学校 向井祥一校長、引率教諭は、上平中学校 小畑ひとみ教諭、原市南小学校 井上春菜教諭、渉外は、指導課 穂山孝幸指導主事でございます。

○報告5 平成27年度上尾市立小・中学校学力調査結果について

(上野明 指導課長) 平成27年4月24日に実施しました「上尾市立小・中学校学力調査の結果の概要について」速報値ということで報告いたします。別冊資料の1ページをご覧ください。本調査は、平成17年度から実施し、今年度で11回目となりました。調査対象は、小学校3年生から6年生、中学校1年生から3年生の、通常学級に在籍する児童生徒を対象に行っております。調査では、「質問紙調査」も行い、「早寝・早起き・朝ごはん・しっかり学ぶ上尾の子」とも関連させ、小学校6年生と中学校3年生を対象に、学力と生活習慣のクロス集計も実施しております。調査人数は、昨年度とほぼ同様であります。2ページをご覧ください。上尾市全体の概要の経年比較となっております。これまでの上尾市の状況を年度ごとの各学年の成績推移と、同一集団を追跡した同グループの成績推移を数値で示してあります。数値は、全国標準を50.0とした場合の比較となります。小学校は、「同学年における比較」について、市全体といたしましては、すべての項目で全国標準を上回っております。上から2つ目の表「同グループにおける比較」をご覧くださいと、小学校5年生は、総合で昨年度の成績より伸びておりますが、小学校6年生は、5年生の頃と比較すると、総合で0.7ポイント下がっている状況です。1番下の表、中学校における「同グループにおける比較」では、昨年度と比較しますと、中学1年生は小学6年生の頃と比べ少し下がっておりますが、中学2年生、3年生は昨年と比べ伸びており、中学校全体としても昨年度よりわずかですが伸びております。3ページは、小学校の得点一覧となっております。これは、国語と算数の調査を受けた児童の2教科合計の平均点から算出した得点を、それぞれの列において数値の高い順に示したものです。上尾市の平均は、学校全体でも、全国平均を超えております。4ページをご覧ください。こちらは中学校になります。上尾市の平均は、学校全体では、全国平均を上回っておりますが、中学1年生が全国平均をやや下回っております。今後、全国平均との比較とともに、各学校でも問題ごとの分析や無解答の問題等について分析して、各学校の課題を明確にし、学力向上プランの見直しを行い、学力向上に向けた取組を推進することになっております。どの学校に行っても児童生徒の学力向上が実感できる、上尾の学校にしていきたいと考えております。以上、速報値の報告といたします。

○報告6 いじめに関する状況調査結果について

(上野明 指導課長) 次に16ページ、「報告6 いじめに関する状況調査結果について」報告いたします。17ページ「いじめに関する状況調査結果」をご覧ください。1番上のグラフと3番目のグラフ、今年度の小学校と中学校ののですが、4月、5月に認知したいじめはございませんでした。

○報告7 ネットパトロールに関する状況調査結果について

(上野明 指導課長) 次に18ページ「報告7 上尾市ネットパトロールに関する調査結果について」報告いたします。19ページをご覧ください。5月の調査結果ですが、「学校非公式サイト」24件、「個人サイト」71件で合わせて95件となっております。4月の調査以後、「個人サイト」が1件閉じられましたが、「非公式サイト」で18件、「個人サイト」で9件の新規のサイトの発見がございました。20ページの「2 学校非公式サイト」の24件の状況ですが、リスクレベルが高く、緊急性のあるものはございませんでした。リスクのある主な内容としては、アダルトサイトからの画像をコピーして張り付けたものや、友人の悪口などの誹謗中傷となっております。同じく20ページの「3 個人サイト」の71件の状況ですが、高リスクで緊急性のあるものはありませんでした。しかし、中・低のリスクのある掲載内容としまして、誰であるかはっきりとわかる生徒の写真が貼られているなどがあり、今後も注意してみていかななくてはならない状況であります。以上でございます。

～坂井学校保健課長挙手～

(細野宏道 委員長) 坂井学校保健課長お願いします。

○報告8 上尾市小中学校一斉避難訓練の結果報告について

(坂井良昭 学校保健課長) 「報告8 小中学校一斉避難訓練の結果報告について」説明させていただきます。5月21日に行った全小中学校一斉による避難訓練ですが、今年は好天に恵まれ特に大きなトラブルや事故もなく無事終了しました。今年度の訓練の特徴は、学校から教育委員会への報告に今までの電話に替えて電子メールを利用したこと、及び、初めてNTTの「災害時非常ダイヤル171」を活用したことなどです。それでは、21ページをご覧ください。内容説明の「1 参加児童・生徒」については、ご覧のとおりです。「2 区長等参加者」ですが、この数字には、事務区長さんの他にPTA役員さんなどが含まれます。「3 訓練報告時刻」ですが、この時刻は全33校の終了確認時刻です。第1報は、昨年より12分遅く、第2報は25分遅く、訓練終了時刻は22分遅い結果となりました。この結果は、今回の訓練で教育委員会への報告に電子メールを利用することで、ICTに慣れていなかった学校の報告時刻等が遅れたため、全体の終了確認時刻が遅れたことが原因であると考えております。ここで、22ページの「一斉避難訓練実施状況まとめ」の左側の表をご覧ください。この表には、学校ごとの第1報などの時刻が記入されており、学校別の訓練終了時刻をみると、昨年より遅かった学校は11校で、昨年より早い、または同時刻の学校は22校で、学校数では昨年より早く訓練を終えた学校の方が多結果となりました。21ページの「4 成果と課題について」にお戻りください。初めに、成果については、避難訓練の継続実施により、児童生徒が落ち着いて避難できたこと、「災害時非常ダイヤル171」の使用方法について確認できたことなどがあります。次に課題については、中学生の地域貢献訓練の方法や自主防災会との連携等について今後の検討が必要なことなどがあります。最後に「5 今後の検討事項」ですが、保護者、事務区長、地域への周知等を含めた訓練の方法や防災用電話を使用しての報告訓練などとなります。以上、報告とさせていただきます。

(岡野栄二 教育長) 報告は以上です。

(細野宏道 委員長) ありがとうございました。報告につきまして、何か質問、意見等ありますか。

～吉田委員挙手～

(細野宏道 委員長) 吉田委員お願いします。

(吉田るみ子 委員) 教育長報告1の部分公開の理由のなかで、「意思形成過程情報」や「事務事業執行情報」とはどのようなことですか。

(西嶋秋人 教育総務課長) 「意思形成過程情報」とは市内部における審議、検討に関する情報であり、公にすることにより、意思決定の中立性が損なわれるおそれがあるものです。「事務事業執行情報」とは市が行う事務または事業に関する情報であり、公にすることにより、事務または事業の適切な遂行に支障を及ぼすおそれがあるものです。

～甲原委員挙手～

(細野宏道 委員長) 甲原委員お願いします。

(甲原裕子 委員) 教育長報告7についてですが、ネットパトロール調査結果で高リスクのサイトはなかったようですが、いろいろなサイトが発見されたことにより、対処などするのですか。

(上野明 指導課長) 調査で発見したサイトのURL(アドレス)のシートを各学校に配布しておりまして、各学校において、シートから自分の学校の生徒に関連するサイトを確認してもらい、その内容によっては、状況を聞くことや人間関係を把握することなど、早急な対応をとっていただくようにしております。

(吉田るみ子 委員) 発信者を追跡しているのですか。

(上野明 指導課長) 発信者側には、インターネット上の「住所」のようなものがあり、そちらから監視業者が追跡している状況です。

(吉田るみ子 委員) 上尾市の児童・生徒であるということがわかるのですか。

(上野明 指導課長) 例えば、あるサイトに、〇〇中学校などと、市内の中学校の名称が投稿されていたりすると、調査対象となり、上尾市の中学生からの投稿であるとわかります。

(吉田るみ子) そうなると、その中学生を特定し、指導などをするのですか。

(上野明 指導課長) 内容を確認し判断しています。例えば、ブログでの日常的な話など、問題がないものであると判断できれば指導をすることはありません。当然、緊急性のあるものについては指導対象になってきます。

(西倉剛 学校教育部長) ツイッターなどといったSNSで、上尾市内の学校名が検索により確認されたとしまして、その内容が、例えば「疲れた」や「今日は〇〇で遊ぶ」であったとします。その内容を確認し、情報として学校側に提供しますが、緊急性がなければ指導までには至らないと思います。しかし、例えば「〇〇をいじめる」などといった内容が確認できれば、緊急性があると判断し、学校側での指導対象となってくる、という仕組みになります。

(細野宏道 委員長) 私から質問させていただきます。上尾シティマラソンについてですが、今年はさいたま国際マラソンと同日開催となりますが、主催者側として参加者が減ってしまうことを考慮しての対策など、何か考えがありますか。

(平賀健治 スポーツ振興課長) 特に対策を行うようなことは考えていません。現時点で、市外や県外の方からも、開催についての問い合わせを多くいただいております。主催者側としては、例年通りの参加人数を見込んでおります。さいたま国際マラソンの開催が今年の3月に正式に決まりましたが、さいたま市が市民報道する前には、シティマラソンの開催予定日を市のホームページにのせました。また、6月2日に実行委員会が開かれ実施要項ができましたので、申し込みの期間などについても、例年より早く市のホームページにのせました。今年度は、シティマラソンのホームページを立ち上げる予定もあり、情報を多く発信し、周知していきたいと考えております。

(細野宏道 委員長) 上尾のシティマラソンは、非常に多くの方に認知されてきておりまして、箱根駅伝の直前という時期に、公認されたハーフのコースでもあり、全国的にも注目されています。そのようなマラソンに、上尾の子ども達が参加できることはとてもよいことであり、上尾シティマラソンは確固たるものであるとして実施していただきたいと思います。つぎに学力調査についてですが、市の学力調査のほかに、国及び県の学力調査があります。上尾市教育委員会として、この状況をどのようにとらえていますか。

(上野明 指導課長) 4月16日に県の学力調査、21日に全国学力調査、そして、24日に上尾市の学力調査を実施しております。市の学力調査につきましては、平成17年より実施しておりまして、小学校3年生以上で、国語・算数・数学・英語を実施しております。上尾市の学力調査の特徴として、学校の各学年、各学級の学習状況が把握できる調査分析があります。また、各個人のシートが返却されまして、そのシートでは正答・誤答が確認でき、学習のアドバイスが記載されております。それを見て、児童・生徒本人及び保護者が学習状況を把握できるメリットがあります。県の学力調査は今年から変わりました、小学校4年生以上で、国語・算数・数学・英語を実施しております。調査結果はまだ届いておりませんが、特徴として、生徒ひとりひとりの伸びが、年度ごとにわかり、追跡できるようになっていると聞いております。全国学力調査につきましては、小学校6年生、中学校3年生での実施となっております、国語・算数・数学・理科を実施しております。学力や学習状況を把握し、課題を分析して改善を図ることを目的としております。いずれにしましても、教育委員会としては、子ども達の学力向上のために、どのように改善していくかという「改善サイクル」をつくることを目的として考えております。

(細野宏道 委員長) 県や市が行っている学力調査の結果は、今年あたらしくなった県の調査結果はこれからとのことですが、各個人のシートでフィードバックされますので、学校全体としてのレベルをどうあげていくか、足りないところをどう補完していくかの材料とし、児童・生徒の学力向上をピンポイントで図れるように活用していただいて、子ども達にフィードバックしていただきたいと思いません。

～吉田委員挙手～

(細野宏道 委員長) 吉田委員お願いします。

(吉田るみ子 委員) 学校の先生方は、学力調査結果を分析し、なにか取組をしていますか。

(上野明 指導課長) 間違いが多かった問題を宿題としてだしたり、各自が自習できるように問題シートを作成したりするなど、各学校が工夫し、さまざまな取組をしています。

～吉田委員挙手～

(細野宏道 委員長) 吉田委員お願いします。

(吉田るみ子 委員) 一斉避難訓練は、児童・生徒が落ち着いて避難できたとの報告もあり、たいへん素晴らしい訓練であると感じました。継続して実施することにより、多くの体験・経験を積むことにより訓練ができ、いざというときも、子ども達は自分で命を守ることができると思います。教育委員

会が中心となり、小中学校と事務区長をはじめとした地域が連携した訓練が毎年行われることは素晴らしいことですので、今後とも是非よろしくをお願いします。

(本田直子 委員長職務代理者) 一斉避難訓練には、関連性もありますので、幼稚園や保育所とも合わせて実施していただけると、多くの方の災害への意識が高まっていくのではないかと思います。

日程第6 協議

(細野宏道 委員長) 続きまして、「日程第6 今後の日程報告」でございますが、その前にお諮りします。本日、事務局より、協議事項といたしまして、「(仮称)上尾市中央図書館の建設について」が提出されております。ここで、日程を追加し、「(仮称)上尾市中央図書館の建設について」協議することに異議はございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(細野宏道 委員長) ご異議がないものと認め、「(仮称)上尾市中央図書館の建設について」協議することとします。この決定を受けまして、予定されていた本日の日程を変更し、ただいま追加された協議の後に、今後の日程報告を行います。協議事項「(仮称)上尾市中央図書館の建設について」岡野教育長よろしくお願いたします。

(岡野栄二 教育長) 新図書館につきましては、昨年の11月定例会において、「(仮称)上尾市中央図書館基本構想(案)」のご承認をいただいているところでございますが、その後のことにつきましてご報告をさせていただき、ご協議いただきたいので、よろしくお願いたします。

～尾形教育総務部長挙手～

(細野宏道 委員長) 尾形教育総務部長お願いします。

(尾形昭夫 教育総務部長) 説明に入ります前に、現段階での新図書館の建設につきましてレビューさせていただきます。平成26年度には候補地の測量を実施いたしました。また、建設にあたり「(仮称)上尾市中央図書館基本構想(案)」を教育委員会に諮り、まとめた後、パブコメを実施いたしました。平成27年度実施の基本設計委託料につきましては、当初予算の議決をいただいております。これから基本設計に入る段階です。基本設計に入るにあたりまして、これまでいただいた様々なご意見を踏まえ、特に公共施設マネジメントとの関係や新図書館の建設後の現本館の利用の見通し、また、財源手当メニューなどについて行政経営部と協議してまいりました。一定の方針案が出ましたので報告を

させていただきますとともに、指摘事項などありましたらよろしくお願いたします。説明は、鈴木教育総務部副参事が行います。

～鈴木教育総務部副参事挙手～

(細野宏道 委員長) 鈴木教育総務部副参事お願いします。

(鈴木利男 教育総務部副参事) それでは説明させていただきます。お手元の資料をご覧ください。新図書館の建設につきましては、昨年度は、候補地の測量、基本構想の策定、市民の代表による建設懇話会の設置、さらに、文教経済常任委員会からは、閉会中の審査などの中で、現地視察や様々な議論を踏まえ、建設にあたっての提言書もいただいたところです。本年3月議会でも議員さんから、「公共施設マネジメントの考え方との整合を図るべき」とのご意見や「現本館に、図書館機能を残して、市民がくつろげる場を設けるべき」とのご意見、ご指摘をいただき、この間、よりよい図書館を建設することを前提として、行政経営部と共に、公共施設マネジメントの考え方等も踏まえ、検討を重ねてまいりました。公共施設マネジメント計画は、行政経営部を中心に、現在、将来における個別の施設について維持あるいは更新の方針を策定する作業を行っております。そこで、新図書館の建設が、今年度中に策定される公共施設マネジメントの個別計画に整合するよう、部分的に先行して一定の検討を行うこととし、進めてまいりました。では、お手元の資料「(仮)上尾市中央図書館整備に向けた考え方(案)」をご覧ください。新図書館の建設計画について公共施設マネジメントの観点として、3点ほどポイントを説明させていただきます。1点目は、右上の概念図のとおり、新図書館は青少年センターと複合化するという視点で考えております。現在、青少年センターは上尾警察署の向かいにある市役所別館の2階にあり、事務所、会議室2室、談話室、団体活動室という構成になっておりまして、老朽化が進み、特に、昨年大雪では、大きな被害を受けました。現在応急措置をして使用しておりますが、近い将来、建て替えや改修といったことを考えなければならない施設となっております。そこで、新図書館の建設に当たり、青少年センターと複合することにより、基本構想に掲げた図書館機能を損なうことなく、老朽化した施設内にある青少年センターを、機能の補完を含めた形の中で複合するよう検討しております。ではここで、建設における財政措置について説明させていただきたいと思っておりますので、もう1枚の資料「公共施設最適化事業等の創設」をご覧ください。この財政措置は、本年に入り総務省から出されたもので、この資料の上段に記載されております「事業概要」にありますように、上尾市公共施設等総合管理計画により行われる公共施設の複合化・集約化に対し、面積を縮小した部分に適用となる「公共施設最適化事業債」の活用を考えております。なお、内容は充当率90%、交付税算入率50%で、現在のところ、工事着手予定の平成29年度までの時限措置でありますので、可能な限り活用していきたいと考えております。この事業債の適用のイメージとしまして、1番下の事例4をご覧ください。既存の200㎡の保育所と既存の200㎡の図書館があり、この図書館部分を150㎡に縮小し、新たに200㎡の公民館を加えた複合施設の事例ですが、この場合、保育所部分と図書館部分を合計すると350㎡となり、合計面積が縮小するので、この事業債の対象となりますが、新設となる公民館部分は対象外となるものです。ではもう一度、資料「(仮)上尾市中央図書館整備に向けた考え方(案)」をご覧ください。今の事例を上尾市の新図書館建設に置き換えてみますと、現本館は、約2,337㎡あり、これを新中央図書館では、図書館占有部分を2,000㎡程度と想定していることから、この部分の縮小と考え、事業債の適用は可能となるものです。なお、

この中においては、図書の開架部分の面積は、現本館の407㎡に対し、約3倍の1,200㎡程度を予定しており、図書資料の充実を考えております。また、多目的室、会議室、学習室、飲食コーナー、ボランティアルームなどは、青少年センターとの共有部分として検討しております。2点目は、パブリックコメントなどにもありました市民要望に応えるものですが、現本館移転後も上尾地区の図書サービスの補完として、一定の図書機能を残す視点で考え、形態として市民が交流できるサロ的なものと考えているところでございます。この計画案の左下の図の「現図書館本館リニューアル」というところですが、上平に新図書館が建設された際には、現在上平公民館内にある公民館図書室が廃止されますことから、この減じられた部分を上尾地区に移転するというところで検討していきたいと考えております。3点目は、同じく左下の図をご覧ください。ここでは2階に教育センターを配置しておりますが、この部分についてはひとつの案としてお考えいただきたいのですが、ここに教育センターを配置することにより右下の図にありますように、青少年センターの移転と併せまして庁舎別館が整理され、今後の改修費の経費削減を図るものでございます。以上のように、基本的には、青少年センターの複合化と庁舎別館の廃止、現本館に図書機能を再配置するということが、本年3月議会後に検討してきた内容でございます。今後は、このような視点を踏まえ、さらに多くの市民の方にご利用いただけるような、魅力ある図書館づくりを目指してまいります。説明は以上です。

（細野宏道 委員長） ありがとうございます。協議事項につきまして説明をいただきましたが、何か質問、意見等ありますか。

（細野宏道 委員長） では、私から質問させていただきます。3月に上尾市公共施設等総合管理計画が策定され、新図書館と青少年センターを複合化することで、国の事業債を使えることや、老朽化した庁舎別館を廃止できることなど、行政側のメリットがあるのはわかります。しかし、新図書館をどのように整備していくか、教育委員会としての議論も当然必要であり、図書館をつくるという観点で議論したいと思います。上尾市にいろいろな施設がある中で、複合する施設として、なぜ青少年センターを選んだのか、青少年センターと複合することで、より多くの来館者が見込まれることなどの議論をしてきたのかをお聞かせください。また、複合することのメリット、コストの縮減につながることで素晴らしいことではありますが、教育委員会としてのメリットとしては何かをお聞かせください。

～鈴木教育総務部副参事挙手～

（細野宏道 委員長） 鈴木教育総務部副参事お願いします。

（鈴木利男 教育総務部副参事） 青少年センターとの複合化については、上尾市公共施設等総合管理計画の基本原則「施設の複合化・多機能化を行い経費の削減をする」があります。基本原則を前提として考えた際、図書館との相性がよい、複合化・多機能化をすることにより相乗効果がある施設として選びました。現在の図書館本館は、2階に会議室がありますが学習室と兼用して使用している状況です。青少年センターには会議室などの集会機能があり、複合化することで図書館と共有できる場所が多くあります。新図書館は、図書の貸し借りだけではなく、市民活動の拠点、地域の拠点となるよ

うな多くの人が集まることを目指しています。複合化するにあたって、原則として、「(仮称)上尾市図書館基本構想」に掲げている内容に沿って検討していくことを前提として考えておりますので、複合化することで図書館機能を阻害することがないよう、基本設計を進めていきたいと考えております。

(細野宏道 委員長) 新図書館をどのような図書館にするかとの議論の中で、私としては、複合施設とすることは賛成です。図書館のとらえ方は人によりそれぞれ違うと思います。図書資料を使って新たな発想をする場・空間として活用する人、開架図書を借りていくだけの人、また、ネットで予約して地元の図書館で借りていく人など、いろいろな使われ方があります。複合化することにより会議室や学習室、オープンスペースなどを有効に活用することで、教育委員会が考えている以上の施設になるのではないかと期待しています。どのような図書館にしていくか、議論を今後も重ねていただきたいと思います。

～尾形教育総務部長挙手～

(細野宏道 委員長) 尾形教育総務部長お願いします。

(尾形昭夫 教育総務部長) 委員長からのご意見は市といたしましても認識しているところでございます。青少年センターを選んだ理由としましては、ひと言で言いますと、「相性がよい」とのことがあります。図書館に青少年センターを複合することで、青少年や子どもの分野を含めた、いろいろな利用の形態ができてくると考えられます。必ずしも、図書館に本を借りに来るとのことではなく、まずは図書館に来ていただくことが大切であると考えています。現段階では、青少年センターと複合化していくとの、ひとつの枠を示しています。今後、基本設計に入っていきますので、各部屋の配置を図面化していく中で、利用者の使い易さなどを十分検討していくこととなります。図書館にはハード面だけではなくソフト面もありますので、ソフト面につきましても、今後、十分検討していく考えであります。また、今まで図書館を利用していなかった方にも利用していただきたい思いもあります。近くには緑豊かな上平公園があることから、公園利用者に来ていただくことや、現図書館本館にはない飲食コーナーの設置などにより、図書館に長く滞在していただけるよう考えております。いろいろな角度から検討しておりますので、今後も、いろいろなアイデアをいただければと思います。

～吉田委員挙手～

(細野宏道 委員長) 吉田委員お願いします。

(吉田るみ子 委員) 教育センターが現在の本館に移転し、青少年センターが新図書館に移転することになった経緯をお聞かせください。

(鈴木利男 教育総務部副参事) 教育センターを利用される児童・生徒達を考慮すると、教育センターは、多くの人が集まる場所ではない方が良いと伺っております。利用される児童・生徒達を第一に考えたところ、新図書館ではなく違う場所となったところです。しかし、教育センターの移転先につきましては、まだ決定したということではなく、お手元の資料で示したものは、現段階では一つの案でありますことをご承知おきください。

日程第7 今後の日程報告

(細野宏道 委員長) ありがとうございました。それでは、続きまして、今後の日程報告をお願いします。

(西嶋秋人 教育総務課長) それでは、7月の日程をご案内させていただきます。7月7日(火)に上尾桶川伊奈教育委員会連絡協議会による視察研修を行いますのでご参加をお願いします。7月22日(水)に中学校吹奏楽演奏会が文化センターで行われます。7月23日(木)午後2時より、教育委員会7月定例会となっております。日程報告は以上です。

(細野宏道 委員長) ありがとうございました。そのほか、委員の皆様から、意見、ご要望がありましたら、お願いいたします。

日程第8 閉会の宣告

(細野宏道 委員長) 以上で、予定されていた日程はすべて終了いたしました。これをもちまして、上尾市教育委員会6月定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。

平成 年 月 日 署名委員